

# 山にひそむ不思議

厳冬の雪におおわれた升沢の水田から、船形連峰の尾根を望む。峰は雪煙でかすんでいる。

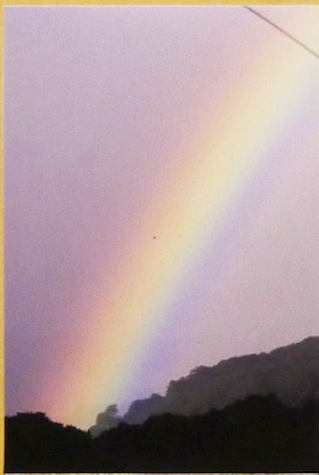


人々が入り出りする林のまわりは、手つかずのブナの原生林だった。そうした奥山では、ときに不思議な体験をすることがあった。冬のウサギヤマ（重団のウサギ狩り）で仲間にはぐれ、吹雪の泉ヶ岳で白髭の翁に出会い、翁の髭をさすけられた男は、升沢の家を家とする話者の祖父にあたるという。その話者は若いころその髭として伝わる実物を目にしてる。

また三本松沼には大ウナギが棲むとも、大蛇が棲み、沼からあがって升沢の旧家のものを訪ねたとも伝える。その日は雪の日だったが、雪の上には小さな猫の足跡が残っていたという。



木ダラシ沼



船形山 九合目



船形山 七合目